

Thanks

感謝の気持ち

わたしを気遣うあの人に
ありがとう。



数えきれない失敗

主婦歴8年、母親歴は5年の私。結婚前は料理経験がほとんどなく、新婚当初は数えきれないほどの失敗を積んだ。

今では夫の味の好みも熟知し、息子の苦手な食材も気付かないよう調理するのが得意だ。

あの頃の自分に言いたい。

夫は失敗した料理も一度も残さなかったよ！

愛情を込めた気持ちはきっと伝わっているよ。

だから今は下手でも頑張るんだ！

辛抱強い夫と毎日笑顔で囲む食卓に感謝だ。



三人のお留守番

町内会の掃除があり、子供三人に留守番を頼んで参加した時の事、子供だけに留守番させた事がなく、一番下はまだ一歳、三人共、不安だっただろうに、心配して急いで帰った所、何と私の為に朝食を作ってくれていました。パンにジャムをぬって、ヨーグルトとコーヒーが用意されていました。一番下の子の世話もあって、大変だっただろうに、私の事も気づかせてくれて……今迄で最高に美味しく、感謝の気持ちで胸が張り裂けそうでした。

にぎやかな食卓

三十九歳になった私。素敵な彼に出逢え、ようやく結婚する運びとなりました。母が今の私と同じ年の時、父が亡くなりました。父の大きな声の下、にぎやかだった食卓を暗くしなかったのは母の明るい性格と美味しい食事のおかげだったと思います。あの時の母程強くはないけれど、母と同じ味の私の作る食事を「おいしいね。」と食べてくれる彼と幸せになります。お父さんお母さん、いつも楽しい食卓をありがとう。

茶色いお弁当

高校生の頃、毎日母が作ったお弁当を食べていた。ある時友達に笑われた。「お弁当茶色い！ウケる！」みんなは色鮮やかできれいなお弁当。顔から火が出そうなくらい恥ずかしかった。あれから十年経って、茶色いお弁当を作ることがどれだけ尊い事か知る。母が全部おかずを手作りしていたのだ。今の自分には冷凍食品を詰めることで精いっぱい。あの時恥ずかしいと思った自分が恥ずかしい。お母さん、ごめん。ありがとう！



おいしい たのしい あったかい—— フィールコーポレーション

Take Free ご自由にお持ちください

GOOD FEELING

特別号

美味しく 感じる つながる 食生活のためのコミュニケーション誌 グッドフィーリング

2021 Winter

第5回 フィール 食卓の ありがとう

食卓にまつわる「感謝の気持ち」のエッセイ優秀賞をご紹介します！

2020年度 「優秀作品」発表！

食卓にまつわる“感謝の気持ち”のエッセイを募集したところ、本当にたくさんのご応募を頂き、誠にありがとうございました。2020年秋にご応募いただいた方の中から10名様「優秀作品」を発表。「グッドフィーリング」特別号としてお届けします。



本任込食パン

このエッセイ募集キャンペーンは、フジパン様のご協賛により実施致しております。



※写真はイメージです。

Memories with family

家族との思い出

誰かとの思い出は
わたしの大切な宝物。



母の料理ノート

数冊のノートがある。新聞や雑誌に載っていた料理記事の切り抜きや、料理番組から母がメモしたものである。その横には、家族の好みに合わせたり、健康のことを考えて、材料や調味料の分量を何度も書き直した跡がある。作るたびに色々と考えてくれていたのだろう。働きながらも、家族の事を考えて料理を作っていた母に感謝です。

母のいなりずし

母はよくいなりずしを作ってくれました。すし揚げの味付けが上手で中身も具たくさんでした。みんな大好きでした。母が亡くなった時、冷蔵庫にいなりずし用のすし揚げと具が冷凍してありました。母の初盆の日、子供や孫達が集まり、みんなで母のいなりずしを食べました。「お母さん、いなりずし、たくさん作ってくれたね、おいしかったよ、ありがとうね。」



白味噌の日

これは結婚前の実家での話です。食卓には愛知出身の母の赤味噌、北海道出身の父の白味噌がランダムに並びました。出身が愛知の私は白味噌だどがっかりしたものです。でもある日、父が夕食を家で取る時は白味噌である事に気づいたのです。母は子供の好みに合わせず、父を最優先に考えていたのです。忙しい父で赤味噌が並ぶ日は、父が今どこでどんな仕事をしているのか話してくれ、父への感謝の気持ちでいっぱいだった事を思い出します。



第5回 フィール 食卓の ありがとう

2020年度「優秀作品」発表!

こどもの手紙

幼稚園から帰りカバンから出されたお弁当箱。今日も完食だわと思いき、袋から取り出すと他に魚の折り紙が入っていた。裏には「おかあさんへ いつもいそがしいのにおべんとうをつくってくれてありがとう」と息子からのメッセージが書いてあった。その日は幼稚園最後のお弁当の日だった。息子の優しい気持ちに胸が熱くなった。優しい子に育ってくれてありがとう。



母との電話

ただでさえ料理が苦手な私。最近の生活変化で食事作りの回数が増え、焦りと疲れで失敗ばかり。夫と子供に申し訳ない気持ちと上手に作れない悔しさで涙が止まらず泣いて料理上手な母に電話をかけました。母は「ゴツは鼻歌を歌うこと。」と。完璧じゃなくてもいい楽しくね、と教えてくれました。母も大変な時は鼻歌で乗り切ったと。いつも頼るとほっとさせてくれる母と失敗しても「おいしい」と笑顔してくれる夫と子供に感謝しています。



Warm words

温かいことば

こころに届く家族のことばが、
うれしくて。

妻とごはんつぶ

結婚して間もない頃、妻が作ってくれたご飯を食べ終わると、「ごはんつぶは最後までちゃんと食べないとだめですよ。」と注意された。その事を同僚に話すと「お前はいい人を嫁さんにももらったな。」と言われた。それから私は、ごはんつぶだけでなく妻が作ってくれたもの、買って来たもの、外食でも残す事はしなくなりました。いつも美味しいご飯をありがとう。



※写真はイメージです。

※写真はイメージです。